

愛知県



COP10の開催と 生物多様性に配慮した地域づくり

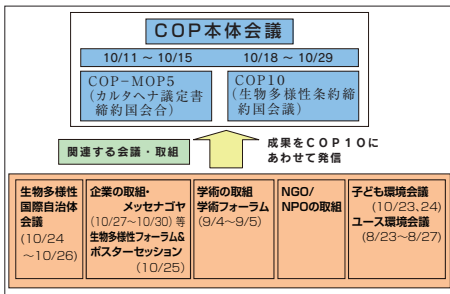
生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の愛知・名古屋での開催まで、あと半年余りになりました。

190を超える国と地域から約8,000名が参加する会議の成功に向け、本県は名古屋市や経済界とCOP10支援実行委員会を組織し、万全の準備を進めています。

また、COP10の開催を一過性のものとせず、これを契機として生物多様性に配慮した地域づくりを進めるため、自治体、企業、NGOなど多様な主体による関連会議の開催及び支援を行うとともに、県民の皆様が様々な

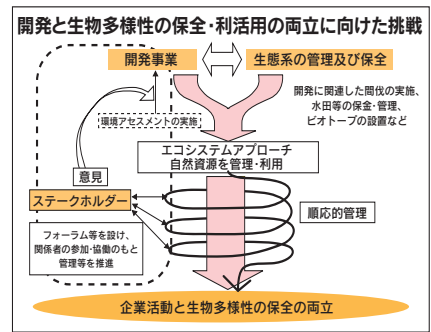
情報に触れ、参加・体験できる場の展開、植樹や生きもの観察などの県民協働運動など、生物多様性に対する意識の向上を図ります。

さらに、総合的・長期的な視点から人と自然の共生を目指す行動計画として、昨年3月に「あいち自然環境保全戦略」を策定し、施策を推進しています。



戦略では、種の指定による希少な野生動植物の保護や、地域の生態系に影響を与える移入種対策、さらに本県の生態系を特徴づける里地里山地域を中心とする生態系ネットワークの形成を柱とする生物多様性の保全に取り組んでいきます。また、この地域が持続的に発展していくために、モノづくりをはじめとする産業活動や社会基盤整備と自然環境の保全との調和を目指す手法として、エコシステムアプローチ(予防的順応的管理)の考え方に基づく取り組みを推進していきます。

こうした取り組みを通じ、産業構造、都市構造、ライフスタイルのすべてにわたって環境負荷を引き下げる、地域まるごと「環境本位」の社会づくりを目指します。



愛知県環境部環境政策課 電話：052-954-6210

豊田市

「ハイブリッド・シティとよた」 低炭素都市の実現に向けて

豊田市は、「クルマのまち」として名を知られる世界有数の産業都市であるとともに、愛知県最大である市域は、その約70%が森林によって占められ、雄大な「矢作川」が貫流する、自然豊かな地域です。

本市は、昨年1月に「環境モデル都市」に選定され、人と環境と技術が融合する環境先進都市「ハイブリッド・シティとよた」をコンセプトに行動計画を策定しました。本市の特徴・強みである「交通」「産業」「森林」の3つの分野の取り組みを柱とし、「都心」を先進環境技術の集約の場・国内外への情報発信の場として位置付け、「民生」の取り組みにより各分野を支えることで、活力ある低炭素社会を目指しています。



プラグインハイブリッド車と充電施設

今後、太陽光発電による電気で自動車が走行する環境にやさしい車の使い方を市民に提案していきます。

昨年12月には、次世代エコカーである「プラグインハイブリッド車(PHV)」を導入し、全国初となる太陽光発電システムを活用した充電施設を市役所敷地内に整備しました。

また、本市は、地球温暖化防止に取り組む家族「エコファミリー」を募集しています。これは、新たな環境技術を取り入れたり、日頃の環境配慮行動に取り組んだりする家族に「エコファミリー宣言」をしてもらう

ものです。'1人年間365kg'のCO₂削減を目指し、一家そろって楽しみながらエコライフに取り組む家族を市内全世帯へと広げていくことをねらっています。太陽光発電や次世代エコカー、家庭用燃料電池の導入に対する補助金制度や、環境配慮行動などに対してポイントを付与する「とよたエコポイント制度」で、エコファミリーの行動を後押ししていきます。

今後も、市民・事業者の環境配慮行動を技術的・制度的にサポートする体制のもと、「活発な市民活動・強い経済活動」と「水と緑の低炭素社会」が両立する持続可能なまちづくりを進めていきます。

豊田市環境部環境政策課 電話：0565-34-6650

